

知らないという勿れ。 僕たちの海、わたしたちの海



今話題になっている処理水は福島に関連している大きな問題なので、
福島県民としては他人事として考えるのではなく、
少しでも自分で考えることが大事だと思うので、
このチラシをきっかけに考えてもらいたいです。

私たちは漁業関係者の方が懸念している福島県産への風評被害を
このチラシを通して防止したいと考えてます。

処理水に含まれているトリチウムはどういった性質なんだろう？
本当に海洋放出してどういった影響があるのだろう？

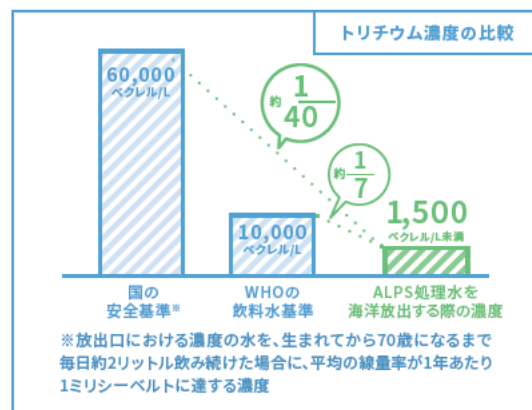
このチラシではそんな疑問を解決します。



トピック①

処理水の安全性

汚染水は「ALPS」という装置でトリチウム以外の放射性物質を取り除き、トリチウムについては大量の海水で図のような濃度まで薄めます。図からわかる通り処理水の安全性は非常に高いといえます。



出典:経済産業省資源エネルギー庁資料「廃炉の大切な話 2022」

トピック②

どうして海に流すの？

放出をしないと、敷地内はタンクでいっぱいになってしまいます。原発周辺の土地は除染土壌を保管することを条件に借りている地域なので、敷地を広げ、タンクを永遠に保管することはできません。先例や実績から現実的なのが海洋放出です。



トピック③

放出による影響

周辺地域の漁業関係者は、ALPS処理水の放出による風評被害を心配しています。海洋放出した際、私たちが受ける放射線影響の増加量は、日本人が1年間に自然界の放射線から受ける影響の数万分の1ほどです。

